

## カモノハシくんはどこ？



ジェラルール・ステア/さく  
ウィリー・グラサウア/え  
河野 万里子/やく  
福音館書店〔エ〕

新学期、どうぶつのかどもたちの学校にカモノハシくんがやってきました。先生がきゆうしょくやたいそうのグループわけをするとき、こまったことがおきてしまいます。カモノハシくんだけが、どのグループにも入れないのです。

かなしくなったカモノハシくんは、学校からでていってしまいます。そこで、先生はあたらしいやりかたでじゅぎょうをすることにしました。

不思議で魅力いっぱいのカモノハシについて書かれたページが最後にあります。

## うえきやさんに おまかせを！



かがくのとも 19年8月号  
村井 健也/ぶん 植垣 歩子/え  
福音館書店

おばあさんの家の庭は、草や木のえだがのびっぱなし。なんだか暗いし、いやな虫もいる。げんかんがどこかわからないし、つたにおおわれて、窓から外がみえません。

こんなときは、植木屋さんにおまかせ。いろんな道具で雑草をかったり、木のえだを切ったりすると、あかるくて風とおしのいい庭になります。

植木屋さんが書いた、植木屋さんの仕事がわかる絵本です。

## ジョナスのかさ



ジョシュ・クルート/文

アイリーン・ライアン・イーウェン/絵

千葉 茂樹/訳

光村教育図書[エ]

雨の多いまちイギリスのロンドンでは、むかしはかさをさすことは、はずかしいことだと思われていました。雨の日は家から出ないか、馬車で出かけるか、雨にぬれるかが当たり前でした。でも、雨にぬれることがだいぎらいなジョナス・ハンウェイは、雨のふらない国をさがす旅に出ました。

ペルシャでかさを見つけたジョナスはロンドンにもどり、どんなにばかにされてもへこたれずにかさをつかいつづけました。

ロンドンにかさを広めたがんこものジョナスのお話です。

## アルマの名前がながいわけ



フアナ・マルティネス-ニール/作

宇野 和美/訳

ゴブリン書房[エ]

アルマの名前をぜんぶ書くと、アルマ・ソフィア・エスペランサ・ホセ・プーラ・カンデラ。ながい名前には、ひとつひとつのものがたりがあります。

ソフィアは本と詩と花がすきなおばあちゃんからもらった名前、エスペランサはひいおばあちゃん、ホセはおじいちゃん、プーラは大おばさん、カンデラはもうひとりのおばあちゃんからもらった名前です。

そしてアルマは、パパがアルマのためにえらんだ「とっておき」の名前です。